

これからの教育を考えるー誰に、何を、どのように教えればよいのかー

1、人類の文化・文明は教育の積み重ねの上に創られている

- ・動物が本能と自らの体験から悟る知恵は、人類も得ることができるし、悟るべきもの
- ・大自然のなかで人類はどのような役割を担っているのか、動物と同じ役割しかないのか
- ・教育は人の精神世界を形作り、必要な技能を発展させ、より質の高い文化・文明を創造する

2、教育の難しさは、知ることよりも、できるようになることにある

- ・かつては知ることが、人と国の命運をかけた一大事業だった
- ・情報化時代の進展で知ことはあまり難しくなくなった。反対にできるようになった気になる
- ・本当はできるようになることが、人と国の命運をかけた一大事業。改めて強調されるべき

3、教育の成果をどこで測るかが、人と国の発展にとって大変重要になる

- ・死ぬ時に成果が測られるという宗教の教えがある。生涯終わりなき教育。あの世に駆け抜ける
- ・学校の試験や資格試験は主に知っていることを確かめるもの。できるようになったら試験はない
- ・より高度にできるようになることで、より質の高い文化、文明が創られる。能の初心

4、教える側と教えられる側の意欲と持久力で教育の成果は大きく異なる

- ・意欲と持久力を高める子供時代の教育は、後の教育にとって極めて重要。頭と体に汗をかく
- ・向上心を持って継続すると人には特異点（シンギュラリティー）が現れて、飛躍的に成長する
- ・日本の伝統的生活には意欲と持久力を高め、維持する仕組みがいくつも織り込まれている

5、教育のタイミングと教育の方法

- ・植物の栽培と同じように、教育でも時間軸のなかでいつ何をやればよいかが大体決まっている
- ・文化、文明の発展に貢献する教育は、英才教育よりもボトムアップ教育。格差を縮めて底上げ
- ・教育の方法こそ、あらゆる創意工夫が試されるべき場所。教育の方法に制約は何もない

6、実技の教育と教養の教育は実は両方大事。デジタル能力とアナログ能力も両方大事

- ・実技と教養の両方がないと仕事は大成しない。デジタルとアナログを融合させる能力が大切
- ・教育の成果を高めるためには押しよりも引き。本人の探求心に答えていく教育が効果的
- ・モチベーションの維持、向上には起承転結の転が効果的

7、新しい教育は原理原則に基づいて、探索的に、ボトムアップで、多様に展開されていく